

令和2年中の県内の死亡事故の特徴(26件26人)

1 死者の年代別

26人中22人が「高齢者」

※ 高齢者の構成率は84.6%

※ 死者の年齢層:30歳代1人、40歳代1人、50歳代2人、65歳～74歳8人、75歳～79歳2人
80歳代6人、90歳代6人

2 第1当事者の年代別

「若者ドライバー」による事故は4件であり、前年に比べ3件増加

「高齢ドライバー」による事故は6件であり、前年に比べ8件減少

3 事故の類型別

・「車対歩行者」の事故は10件であり、全て夜間に発生(うち薄暮時間帯は5件)

件数は前年に比べ4件減少

横断中の事故は7件、うち横断歩道上の事故が1件

・「車両相互(車対自転車含む)」の事故は5件であり、前年に比べ3件減少

・「車両単独」の事故は11件(うち自転車単独は3件)であり、前年に比べ3件増加

4 事故類型別の原因

・「車対歩行者」の事故は、前方不注意が9件、歩行者妨害が1件

・「車両相互(車対自転車含む)」の事故は5件で、一時不停止が3件、最高速度違反が1件、不詳1件